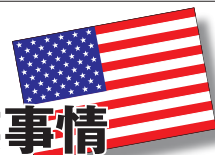




日本でもなじみのカルフォルニアレモンの選果

海外視察研修

アメリカの農業事情



平成23年2月6日から2月12日
アメリカ農業事情視察団レポート

農地部会長
百瀬茂敏



全国から参加した私たち37名の視察団は、時計の針を約7時間あと戻りさせて、2月6日早朝サンフランシスコに到着しました。

雨季が明けたカルフォルニアは暖かな春の陽射しがまぶしく輝き、花ナシが咲き誇っていました。

初日は金門橋やベイブリッジ、サンフランシスコの湾岸都市が一望できるツインピークスの丘や、食品スーパー等の見学を済ませました。

翌7日からは北部のサクラメント郡から南部のメキシコ国境インペリア郡まで、広大なカルフォルニア中央平野をバスで縦断(1600km)するといふかなりハードな日程でした。



車窓から望む広大な圃場

訪問した農家や団体、会社等での研修や生の声はも

とより車窓からの圃場や水利の様子や、植栽されている作物等々アメリカ農業事情に精通されているコーディネーターの内容の濃い説明に、疲れや眠気を感じることなく全てに興味深く研究することができました。



325馬力のトラクター

カルフォルニア農業の特徴は、温暖な気候と肥沃で広大な平野に整備された水利(800kmにわたる2本の運河)を活用した大規模灌漑で、大型機械や施設とメキシコ人労働力に支えられた、土地生産性追及型農業が形成されておりました。農業生産額は全米一位、とりわけ350種類に及ぶ

農産品の多さと規模の大きさには、日々驚きの連続でした。



サクラメント郡農民組合

本を中心としたピラミッド型の農業構造の現状はTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)の問題への参考となりました。一方有機農業への意識や取組が年々拡大されつつあり、大学や認証団体の研究や指導の状況は新たな驚きであり、ある面脅威を感じました。

研修に際して、激励やご支援に感謝申し上げ報告とさせていただきます。



農家で研修

訪問したサクラメント郡農民組合では、農業用水の確保や汚染、農地の転用、食農教育や後継者対策等の問題、サクランボ中心に880haを経営する大型農家や南部の200haの有機栽培農家では、借地や水利・雇用労働力(時給8・25ドル)、所得保障や流通等の生の声を聞くことができました。また200haの牧場に常時10万頭が肥育されている畜産の状況や、加工パッカーや集荷業者の巨大な資